



【 「みんなが主役」の運動会になりました 】

○ 本日、子供たちが自分のもてる力を発揮して無事運動会が終わりました。ご家族、ご来賓の方々、応援、ありがとうございました。多くの子供たちのよさが発見できました。



○ 例えば、低学年の「玉入れ」では、指揮者の子供に合わせて、みんなで大きな声で「一つ、二つ・・・。」と数える声が響いていました。練習とは全く異なっていたことに成長の跡が見られました。一人一人が声を出し、**声が一つになる**ことで、子供自身が「**自分は運動会に参加しているのだ。**」という意識を強くもったと感じました。

○ また、高学年の「綱引き」では、負けた団の子供が勝った団に対して、盛大な拍手を送っていました。きっと悔しい思いをもっているに違いありません。それにも関わらず、**相手の検討を称える拍手**に感動しました。この拍手は、負けても自分たちがよくやったという、**自分の団のがんばりに対する拍手**でもあるのだと、私は思います。

○ さらには、80m走でゴールした後に転び、顔を地面に打った1年の子供がいました。その瞬間、4、5人のゴール付近にいた上級生がさっと駆け寄り、転んだ子供を助けました。なんと**優しい心**をもっているのでしょうか。

○ これらの姿は、まさに「**自分から行動する**」姿です。大変うれしい姿です。

○ 閉会式では、総合優勝のトロフィーと、応援最優秀賞のトロフィー（カップ）を渡しました。これは、**平成29年度の卒業生が卒業記念品として制作した木彫りのトロフィー**です。今後も、**木彫りのまちにある井波小学校の特色あるトロフィー**を受け継いでいってほしいと思います。



総合優勝

応援最優秀賞